

『18歳を市民に』

高生研

第56回全国大会 2018夏 in 鳥取



会期・会場
2018年8月10日(金)～12日(日)
8月10日 県民ふれあい会館
11・12日 青翔開智中学校・高等学校

大会テーマ

あいたい自分・生きたい社会を語り合う

日程

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
10日 (金)					受付 12:30～ 入門講座 ※13:00～14:00		全体会 (開会行事・基調討論) 14:00～17:30			休憩 (分科会打ち合わせ)		交流会 18:30～21:00	
11日 (土)		受付	一般分科会 9:00～12:30		昼食 12:30～ 13:30		一般分科会 13:30～17:00			休憩		総会 18:00～20:00	
12日 (日)		受付	問題別分科会 9:00～12:00		別れの 集い 12:15～ 13:00								

※平行して大会実行委員会

8月10日(金) 13:00～14:00

入門講座「文化祭を成功させよう！」 報告者 久田晴生(愛知)、溝口幾子(埼玉)

一般分科会で報告される溝口実践のVTRを見て、それをヒントに、クラスで文化祭に取り組む時のポイントになることを参加者みんなで考えます。さらに、文化祭に取り組む意義を「18歳を市民に」の観点から考えます。

全体会 開会行事 14:00～14:30

基調討論 14:30～17:30

「若者の生活現実からはじめる主権者教育」

～あいたい自分・生きたい社会を語り合うために～

基調発題 長野 仁志 (大阪)

生徒も大人も、あいたい自分や自分が生きたいと思う社会のかたちを語り合うことこそが主権者教育の核心ではないか。長野基調は、どんな具体的な方法で関わったら共に生きる社会を語り合えるのか何度も問いかけています。私たち教職員も生徒の生活現実を目を向け教育現場に立つ主体として、手触りのある主権者教育の形を議論しましょう。

主催：全国高校生生活指導研究協議会 後援：鳥取県教育委員会

□一般分科会 8月11日(土)

A 午前 9:00~12:30

1 学年・学校づくり

行事を通じて生徒の自治と教員集団を育てる試み

山野賢治(大阪)

ある3年生の「初めて高校生らしい文化祭ができました」という言葉から、「生徒たちをもっと行事に参加させたい」という思いを持ち、修学旅行を生徒たちと創ってみた。すると、生徒たちは修学旅行に留まらず、体育祭や学年行事でも動きだした。学年づくりに奔走した2年をふり返る。

2 ホームルーム

他者との関わりで自分が変わる

小林孝臣(東京)

持ち上がり3年間のHRで、自閉症のTくんが他の生徒たちとかかわる中で、Tくんをはじめ、HRの生徒が成長していく物語。様々な特性を持った特別な教育ニーズのある子どもたちがいわゆる「普通学級」と呼ばれる枠組みの中に存在することで、「普通」と呼ばれるものを問い返しつつ、相互の学びに開いていく実践。「普通」の高校教育の現場で、多様な個性をもった人々が共生する社会の構築を目指すインクルーシブ教育の可能性を指し示している。

3 学校づくり

教育活動をリフレーミングする教育相談

藤野昇(静岡)

家族療法の中心技法のひとつであるリフレーミングは、事象に対する捉え方を変え、新たな枠組みで見ることを意味する。教育現場で起こる事象もリフレーミングすることで全く異なる様相を示すことがある。学校に新たな風を吹き込む可能性を秘めた「教育相談のチカラ」について報告する。

B 午後 13:30~17:00

4 ホームルーム

Yの成長とクラスの成長

溝口幾子(埼玉)

一年次に委員長をリコールされたY。進級と共にクラス替えをして委員長に復活。生徒会行事を通してYの成長と共にクラスは成長を続ける。個としての成長は環境をつくりだし、環境が個を育てる。クラスという社会の中で、個と個の相互関係を自分たちで作りあげた実践報告。

5 ホームルーム・生徒会

クラスの出来事の歴史化が生徒を当事者にする

天野暁(東京)

学校行事において、その行事に対する生徒の立場は様々である。だから、その行事に関するHRでの話し合いも当事者意識に違いが生まれる。そんな中、クラスでの話し合いは何を大切に進めれば良いのか。教師が支援できることは何か。共に考えたい。

6 地域・学校づくり

「地域づくり×人づくり」～若者が地域を創る～

今井典夫(兵庫)

地域に学び、地域と協働する学校を目指して、地域に飛び出し、高校生が地域づくりに取り組んだ実践報告。そこから見えてきた「子どもたちにどのような学力を育てていくのか」というテーマについて考えていきたい。

7 小学校・ホームルーム

子どもを「主体」とした学級づくりを模索し続けて

中村正樹(鳥取)

教員として、私たちは目の前の子どもをどのようにとらえどのように関わろうとしているのか。個性あふれる7名の子どもたちを通して自分自身の関わり方を問い直し、子どもたちに主権者としての意識を育てるための学習の在り方を模索した。

□問題別分科会 8月12日(日) 9:00~12:00

1 発達障害と青年期教育—

三木裕和(鳥取大)

高校における通級指導教室も念頭に

自閉症を中心とした発達障害について、社会的な理解が進んでいる。しかし、彼らの苦難を教育課題としてどう受け止めるかという視点は弱い。思春期の傷つき体験からくる二次障害のある生徒をどう理解するのか。人格的な相互成長をどう保障するのか。ともに考えたい。

2 部活議論の「見取り図」を描く—

「ブラック」と言われる部活動にどう向き合うのか

田中紀子(岐阜経済大学)、河堀ちなみ(大阪)、白石陽一(熊本大学)

部活は、暴力、自主性と真逆の「強制入部制」、教師と生徒の過重負担、学校経営や進路選択とつながる「勝利至上主義」などの問題が山積し「ブラック部活」とまで言われている。若手教員の実践報告から悩みを受け止め「賛成 or 反対」の二分法では語りきれない部活動のこれからを考える。

3 コミュニケーションとハラスメントの問題から生活指導実践の課題を探る

内田理(埼玉)

大会で報告された実践、過去の基調発題などを、コミュニケーションとハラスメントの視点から分析・検討を行い、「自己の相対化」「自他認識の深化」「集団の成長」をキーワードに、参加者とともに生活指導の実践課題を整理する。

4 模擬投票だけじゃない

～文化祭出し物決めも生徒総会も模擬請願も、みんな主権者教育～

佐藤功(大阪)、井沼淳一郎(大阪)、首藤広道(大阪)

基調にも取り上げられる主権者教育の目指すところは、生徒が主体的に社会に参画しようと行動できる力を育むもの。果たしてどのような実践がありえるのか。投票行動を促す模擬投票そのものではなく、その前後の「自らが考え行動する」に力点が置かれる佐藤実践を中心に、社会科の教師に限定せず、生徒と教師がともに社会や学校に風穴を開ける教育のありようを模索する。

□交流会 8月10日(金) 18:30~

◎ 「障害や困り感を抱える当事者・保護者と繋がろう」(現地主催)

「(発達障害等) 困り感を抱える子を支援する親の会」として活動してこられた「らっきょうの花」の皆さんと交流します。「お話」だけでなく、楽しい催しも検討中。発達障害だけでなく、多様な立場の当事者のお話も！
参加者の皆様と『繋がる』楽しいひとときになると嬉しいです。

◎ 基調を読む

交流会は、参加者が自らの興味関心によりつくるものです。現時点で、上記の2つが確定しています。今後、企画申し込みを受け付けます。ご注目下さい

参加案内

参加費 全日程参加 5,000円 2日参加 4,000円 1日参加 2,000円
 学生 1,000円 (ただし、大会実行委員として参加した場合は無料)

昼食 8月11日(土)の昼食については1,000円です。(お茶込み)
 ※数量を把握するために事前申込み(大会参加申込みフォームから)が必要です。

申込方法 「高生研2018鳥取大会応援ブローグー18歳を市民に」の大会参加申込フォームにて申し込んでください。
<http://kouseikenn.jp/Taikai/>からアクセスできます。

保育 保育を希望する方は7月20日までに参加申込みフォームに入力して下さい。
 3歳未満でも受け付けますが、その際は必ず年齢の入力をお願いします。
 料金は半日で1,000円以内です。

宿泊 大会実行委員会で50部屋仮押さえしています。ここに宿泊を希望される方は、参加申込みフォームにご記入下さい。締め切りは6月30日です。それ以前に埋まれば終了とします。
 ※大会期間は鳥取市内のホテルのほとんどが、かなりの高額料金になります。
 下記ホテルを希望される方は早めに申込みをお願いします。

- ◎ホテル(朝食付き)合計50室
- ・ホテルモナーク 温泉あり 7,500円(20室)
- ・シティホテル 温泉なし 6,500円(30室) (駐車場は少なめ)

上記ホテルを希望されない場合、あるいは埋まってしまった場合、宿泊は各自でお取り下さい。

<高生研大会会場周辺アクセス>

(8月10日) 県民ふれあい会館
 (鳥取県立生涯学習センター)
 〒680-0846 鳥取市扇町21番地 鳥取駅から徒歩5分
 (8月11・12日)
 青翔開智中学校・高等学校 鳥取駅からバス15分
 〒680-8066 鳥取市国府町新通り3丁目301-2
 (上履きをご持参ください。)

路線バス ホテルモナーク利用の方は、「生協病院前」で乗車ください。
 行き 鳥取駅 生協病院前 新通り(青翔開智最寄りの停留所)
 7:45 → 7:49 → 7:58

帰り(8月11日)
 新通り 生協病院前 鳥取駅
 17:07 → 17:16 → 17:20
 19:07 → 19:16 → 19:20

帰り(8月12日)
 新通り 鳥取駅
 13:07 → 13:20
 15:07 → 15:20

スクールバス <大会参加者は無料>
 行き
 鳥取駅 生協病院前 青翔開智
 8:15 → 8:20 → 8:30
 8:30 → 8:35 → 8:45
 帰り(8月11日)
 青翔開智 生協病院前 鳥取駅
 18:10 → 18:20 → 18:25
 20:30 → 20:40 → 20:45
 帰り(8月12日)
 青翔開智 鳥取駅
 13:30 → 13:45

<高生研の案内・問い合わせはこちら>

○高生研の紹介・大会案内を掲載
 「高生研2018鳥取大会応援ブローグー18歳を市民に」
<http://kouseiken.jp/Taikai/>

問い合わせ先
 大会実行委員長 安藤誠也
 (高生研大会グループチーフ)
 e-mail: a-seiya@cty-net.ne.jp

